

湘南台小だより

2017.7.20

藤沢市立湘南台小学校
校長 岡 滝男

学校教育目標：自ら学び、たくましく生きる力と豊かな心を持った子どもを育てる

「あんしん あったか やさしく 元気！！」な学校を目指して

さあ 夏休み！！



1学期もあっという間に終わりを迎え、いよいよ夏休みとなりました。

夏休みにはあれもこれもといろいろな計画があり、また、勉強をさせなくちゃいけない、お手伝いもさせなくちゃいけない、と親の方も意気込んでいるのかもしれませんがね。

それぞれの家庭があって、それぞれの考え方で過ごして頂いてももちろんいいのですが、その中で、1つでもいいから子どもが「自分の力でやりとげた」という経験をさせて頂ければなと思っています。

具体的には、「夏休み中ずっとやり続けたこと」でもいいし「初めて遠い親戚の家まで一人で旅行した」、「親の手を借りずに完成させた」でも何でも結構です。

自分の力でやり遂げたとき、子どもは自信を付けます。これは、「自己肯定感」「自己有用感」とも言われますが、とにかく日本の子どもは自分に対する自信がない子どもが多いと言われます。

学校で見ている、やる前から、「どうせできない」という声が聞こえることがあります。

自信を付けることで得られる「自分ってすごい」は、「友達もすごい」につながる大変大切な感情です。

先日の新聞にこんな記事が出ていました。

「よく言われるたとえ話で、『無人島にいる人に生きながらえさせるには、捕った魚をあげたほうがいいのか、魚の捕り方を教えた方が良いか』という話がある。一般的には『長く生存するためには魚の捕り方を教える』というのが正解になるが、現在ではさらに、『魚を捕りたいという欲望を持たせる（おなかかすいたという感情を持たせる）』という選択肢も必要になる」。

なるほどと感心してしまいました。

子どもに意欲が無く、やらされているだけでは勉強もスポーツも実を結びません。

子どもは自信を付けることで次への意欲が生まれてくることがあります。

夏休みは、日頃できない経験をするには絶好のチャンスです。

「家庭への知らせ」の結果も気になることと思いますが、今がゴールではありません。子どもの将来を見つめて、この夏は、是非、子どもの力でやり遂げる経験をさせてほしいと思っています。

暑い夏になりそうですが、健康に留意してお過ごしください。

□ 9月の主な行事予定

- 1日（金） 2学期始業式
- 5日（火） 給食開始
- 6日（水） 委員会活動
- 7日（木） 避難訓練（地震）
- 11日（月） 朝会（校地内美化）
- 12日（火） 朝会（入場・歌練習）
- 19日（火） 全校練習（入場・歌）
- 25日（月）～26日（火） 6年修学旅行
- 27日（水） 6年午前授業
- 28日（木） 全校練習（応援・全校種目）



* 9月分の給食費の引き落としは、10月2日（月）です。

* 運動会は、10月7日（土）に実施し、10日（火）がお休みになります。

□ 授業参観・懇談会への参加ありがとうございました

6月20日（火）、22日（木）の授業参観・懇談会ではたくさんの方にご出席頂き、ありがとうございました。また、その後の茶話会でも、いろいろな意見交換ができたようで、大変参考になりました。

さて、その中で、担任不在時の体制についての懸念があったということで、この場をお借りしてお答えいたします。

学校教職員は、授業があるときでも、出張・研修・あるいは体調不良や家庭の事情等で不在になることがあります。そのような時は、担任と学年が相談して1日の学習内容を計画し、あるときは2クラス合同で授業をやったり、あるときは授業変更して担任以外の先生に授業をやってもらったりしていますが、プリント等での自習になることもあります。小学校では担任以外の先生の数が少ないため、出張等が多いときなどは、学年の先生を中心に当該クラスの様子を見に行ったりするなどの配慮をしています。

また、担任が不在の時こそ子どもたちが自ら判断し行動する（自律する）絶好機と捉え、日頃から指導するように心がけているところです。

保護者の皆様にはご心配をおかけしますが、よろしくご理解いただきますよう、お願いいたします。

□登下校時の安全について

先日、藤沢市の防犯交通安全課より、子どもの交通事故についての情報提供がありましたので、ご紹介いたします。

- ①年齢別の歩行中の交通事故による死傷者数は、7歳児が圧倒的に多い
- ②7歳児の交通事故は、日中に73%、薄暮時に23%発生している。
- ③7歳児の交通事故は、平日の発生が、土曜日の2倍、日曜日の2.5倍。
平日の中でも金曜日が多い。
- ④登下校時以外でも、7歳児の交通事故が多い。
- ⑤7歳児の交通事故は、男児が女児の2倍。(登下校時を除くと2.5倍)
- ⑥7歳児の事故の形態は、「飛び出し」と「横断中」で約60%。
- ⑦7歳児の交通事故は、4月より5月の方が多い。

以上のことから、「交通事故総合分析センター」では、次のように分析しています。
『7歳児にピークが生じるというのは、小学校が始まることで登下校中の事故が増加するからという単純な理由ではないように思われる。そしてここで注目したい点は、7歳児にかけて急激に増加した後、すぐに減少しているという点である。7歳にかけて死傷者数が増加した裏には、事故に至らなかった数多くの危険な状況があったと思われる。子ども自身が危険な状況に遭遇し、その行動を通してどのような行動が危険なのかを学んだことで7歳以後は減少していると思われる。したがって、小学校入学前に、小学校の通学路や子どもの行動範囲内にある公園などまでの道のりを一緒に歩くなどの準備が必要。小学校に入学する前に、できるだけ時間をかけて交通安全指導を積み重ねておくことで、7歳児のピークを小さくすることができるのではないのでしょうか』

とのことでした。

また日頃から、男児の方が女児よりも突発的な行動を取ることが多いように思います。夏休み中は、大人の目が離れることが多くなります。自転車での一時停止や、横断歩道を渡るなど、交通ルールをしっかりと守ることについて、ご家庭でもお話しください。

□エアコン工事について

5月の学校日よりでもお知らせしましたが、この夏休みから約半年間、教室へのエアコン設置工事が始まります。

しかし、今のところ工事の詳細については不明なため、皆様にお知らせすることができません。

工事の概要としては、①教室内への機器の設置、②廊下の天井に配管を通すため、廊下の天井を剥がす、③校舎の外に室外機を設置する、④大がかりな電源工事、となると思われます。

夏休み中は工事車両の出入りや機器の搬入などが予想されますので、校門周辺の通行や工事場所へ近づかないなど、事故防止に十分ご注意ください。

また、7月24日、25日に、正門のスロープの工事を行います。7月31日(月)まで正門は車の通行が禁止になりますので、ご協力ください。